

学 年

中・高

いろはうた1

年 組 氏名

いろはうた

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむ

うみのおくやまけふこえてあさきゆめみしゑひもせす

「いろはうた」は、いろはの仮名四十七文字を一回ずつ使ってつくった歌で、歌全体が七五調しちごしょうのリズムになっています。七・五・七・五…となるように言葉をくぎって線を引きましょう。また、何度も声に出して読み、言葉のリズムを味わいましょう。

いろはうた

色は匂えど散りぬるを

わが世誰ぞ常ならん

有為の奥山今日越えて

浅き夢みじ酔いもせず

意味

花は色美しくさいても、ずっと咲き続けることはなく、やがては散ってしまふ。

わたしたちの世でだれがずっと変わらずにいられるだろうか。いや、そんな人はだれもいないだろう。

奥深い山をこえるように、今日も人生の山をこえて、浅い夢をみることもないだろう。よっているわけでもないのに。

学 年

中・高

いろはうた1

年 組 氏名

いろはうた

いろはにほへと一ちりぬるを一わかよたれそ一つねならむ

うみのおくやま一けふこえて一あさきゆめみし一ゑひもせず

「いろはうた」は、いろはの仮名四十七文字を一回ずつ使ってつくった歌で、歌全体が七五調のリズムになっています。七・五・七・五…となるように言葉をくぎって線を引きましょう。また、何度も声に出して読み、言葉のリズムを味わいましょう。

いろはうた

色は匂えど散りぬるを

わが世誰ぞ常ならん

有為の奥山今日越えて

浅き夢みじ酔いもせず

意味

花は色美しくさいても、ずっと咲き続けることはなく、やがては散ってしまふ。

わたしたちの世でだれがずっと変わらずにいられるだろうか。いや、そんな人はだれもいないだろう。

奥深い山をこえるように、今日も人生の山をこえて、浅い夢をみることもないだろう。よっているわけでもないのに。